

令和六年九月号

《第一四一号》

しらへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333

ながつき 長月の祭典・行事案内

【月次祭】 九時半

一日(月)

二十六日(木)



※ 二日(月)は己巳(つち
のとみ)の日で特に御利益
があると云はれてゐます。
参列者には小札(財布用)と撒饌の授与
及び社報九月号を配布します。

【昭和天皇御製】(第一二四代)

たたかひ 「戦災地視察」
くにたみ

戦のわざはひうけし国民を
おもふ心にいでたちて来ぬ

(昭和二十一年)

《9月の年中行事》

一日(日) 防災の日

九日(月) 重陽の節供

十六日(月) 敬老の日

十七日(火) 十五夜(中秋の名月)

二十二日(日) 秋分の日・秋季皇霊祭

二十五日(水) 彼岸明け

【白蛇供養祭】 八月十六日

今年は節目の第六十回目の供養祭でした。
記録的な猛暑の中、二十五名の参列者を得て
厳かに岩国白蛇の御霊をお慰めし、白蛇の長
寿と岩国の発展と日本国の産業振興を祈願い
たしました。

今春には今津の放飼場も新たに土も入れ替
へられ、三十頭の白蛇が放されました。ほぼ
無菌状態の環境下となりましたが、この猛暑
に耐えられるか心配してゐます。



供養祭の斎主は
白蛇神社の平田宮
司が、典儀は白蛇
保存会の中村事務
長が夫々務めまし
た。玉串拝礼では
森橋会長、岩国市
市議会の桑原議長、
吉川事務所・神社
総代会岩国支部長
・岩国市教育委員
会・岩国商工会議
所・今津山手自治
会等が行いました。

天然記念物「岩
国白蛇」の放飼場
の一つは、神社参
道の脇にあり、三十
頭の白蛇が放され
てゐます。観覧
所は白い鳥居の先
にあり間近に見る
ことができます。



【推薦図書】

『後にくを信ず』

かや書房

（特攻隊と日本人）

岩田 温 著 一九八〇年

「……我々がなさなければならぬのは、
特攻に赴いた人々が何を思っていたかを考
えることである。敢えて言えば、想像する
ことである。自分自身がその時代に生きて
いたのなら、どのような人生を歩んで居た
のか。我が事として歴史を学ぶべきなのだ。

後に

続くを

信ず

特攻隊と日本人

岩田 温



どれほど知識を身につけようと、自分自
身の問題として歴史を引き受ける覚悟を持
たなくては、歴史を学ぶことにはならない。
悪しき軍部に強制された等々の批判がある
のは、十分承知している。だが、私はそれ
でも信じている。彼らは祖国のために命を
捧げたのだ。彼らを尊敬しないで誰を尊敬
するのか。……」
(まえがきから)

『放送禁止。』

飛鳥新社

「あさ8」で知るニュースの真相」

百田尚樹・有本香 著 一〇八九円

「……「あさ8」は一言でいえば「タブ

「なきニュース解説」です。政治、国際、経済のニュースを主に取り上げていますが、地上波テレビが絶対にやらない切り口で解説しています。この本をお読みになつて読者の皆さんならご存じでしょうが、テレビは実は非常に制約の多いメディアで、ニュース番組なども真実の報道からはほど遠いものになっています。さらにテレビ局というのは、「左翼的」で、「売国的」で、「偽善的」です。したがって、中国や北朝



鮮といった共産主義国を非難するような報道、弱者ビジネスとしか言いようのない各種団体（NPOや社団法人）の欺瞞を追及するような報道などは、かなり抑制されたものになっているし、時には「報道しない自由」を駆使して、国民の目から重要なニュースを隠します。しかし、「あさ8」はそうした付度は一切ありません。テレビが取り上げないニュースも堂々と取り上げますし、テレビの解説者が絶対に言わないこともはっきり言います。もし、私たちの発言が地上波テレビで流れたら、それだけでニュースになるでしょう。この本のタイトルが「放送禁止。」となつてゐるのは、そういう理由です。・・・（まえがき）より

『古事記』中巻（六十）

神倭伊波礼毘古命（神武天皇）の東征
（兄宇迦斯と弟宇陀斯）

ところが、この宇陀には兄宇迦斯と弟宇陀斯の二人がゐりました。そこで先に八咫鳥を遣はして二人に尋ねさせ「今、天つ神の御子がお出でになりましたが、あなたたちはお仕へ申しあげるか」と言ひました。すると、兄宇陀斯は、鳴鏑の矢でその使ひを待ち受けて射て、追ひ返しました。それで、その鳴鏑の落ちた所を訶夫羅前と言ひます。兄宇陀斯は、待ち受けて撃つと言つて軍勢を集めやうとしたけれども、軍勢を集める事ができなかったのので、お仕へ申しませうと偽つて、御殿をつくり、その御殿の中に押篭を仕掛けて待ち伏せしてゐました。弟宇陀斯が先づお迎へして拝みて申しあげるには「私の兄である兄宇陀斯が、天つ神の御子の使ひを射返し、待ち攻めやうとして軍を集めやうとしたけれども、集めることができず、御殿を造つてその内に押篭を張つて待ち取らうとしてゐます。それでお迎へに参り、この計画をすつかり申しあげるので」と申しました。

このとき大伴連等の祖先である道臣命・久米直等の祖先の大久米命の二人が、兄宇陀斯を呼び、罵つていふには、「おまえがお仕へ申すために造つた御殿の中に、きさまが先づ入つて、お仕へ申さうとする有様をはつきりと見せろ」と言つて、太刀の柄を握り、矛をしごき、矢をつがへて追ひ込んだところ、たちまちに兄宇陀斯は、自分が造つた押し毘に打たれて死んでしまひました。そこで、すぐに兄宇陀斯を引き出して、切り散らしました。それでこの地を宇陀の血原といふのです。

さうしてその弟宇陀斯が献上した御馳走は、

すべてその軍勢に与へました。この時お歌ひになつた歌は、

宇陀の高城に鳴篭張る我が待つや鳴は障らずいすくはし鯨障る前妻が肴乞はさばたちそばの実の無けくをこきしひゐね

後妻が肴乞はさばいちさかき実の多けくをこきだひゐねええしやしやしやこはいのごふそああしやしやしやこは嘲笑ふぞ

と歌はれました。そして、その弟宇陀斯は、宇陀の水取等の祖先であります。（続く）

【来年巳年に向け準備始まる】八月四日

第一回巳年対策委員会が開催されました。神社・保存会・自治会・天満宮・連合自治会の関係者八名によつて、来年巳年の新年にあたり、各地からの多数の方々には気持ちよく参拝して、岩国に良い印象を持つていただくため、又、お迎へする地域住民の方々にも歓待の心で、共に新年を迎へられるやう、その準備が始まりました。神社の境内には左の看板が立てられました。

【令和七年巳年初詣にあつての駐車場のお願い】
来年巳年正月の初詣に車でお越しの場合、駐車場は麻里布小学校の校庭（運動場）のみとなります。
約七百台離れていますが、徒歩にて十五分程度です。不便をおかけしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。
※期間は、元旦から五日（日）までとなります。
岩国白蛇神社 Hakkoji Shrine

この看板の案内を周知徹底すべく、当社に参拝された方には、写メ等で多くの方々には知らせてくだされば有り難く思ひます。宜しくお願ひ申し上げます。